

藤沢市子ども・子育て会議

平成30年度第2回子どもと子育て家庭の生活実態調査等検討部会 会議録

日 時：2018年（平成30年）8月23日（木）午後2時～4時

場 所：藤沢市役所 本庁舎3階 会議室3-2

出席者：（部会委員）榊居委員、神尾委員、内田委員、小林（美）委員、  
増田委員、長谷川委員、原田委員

（受託者）株式会社浜銀総合研究所 野口副主任研究員、石川研究員  
（事務局）吉原、望月、和田

内 容：

○第1回部会及び第2回全体会の内容確認【資料1・2】

○実態調査スケジュールの確認【資料3】

・9月28日（金）には家庭へ配布していただけるように、それまでに各学校へ調査票をお届けする。

・9月4日の小学校校長会には、アンケート調査票の配布に関する具体的なスケジュールを示してほしい。

○保護者用の依頼文（案）【資料4】

・配布用封筒の中に、アンケート調査票と一緒に入れる。

・ルビをふる。市HPの読み上げ機能を活用する。ルビ付きの調査票を市HPに公開する。

・封筒に関しては、対象者に応じて色を使い分ける（下図参照）ため、依頼文も他のものと紛れないように色紙を使うか否かは、予算との兼ね合いになる。

	小5児童	小5保護者	中2生徒	中2保護者	5歳児保護者
配布用	角2・うす緑		角2・うす緑		角2・青
保護用	長3・白	長3・茶	長3・白	長3・茶	—
返信用	角2・白		角2・茶		角2・茶

※封筒は、剥離テープ付き

○8月15日までに頂戴したご意見に対する検討結果【資料5-1～3】

○アンケート調査票【資料6-1～4】

・小中学生票：問20の選択肢13「得意な教科はない」に「・活動」を追記。

・小中学生票：問4の選択肢7「夕ごはんは食べない」ではなく、「食べないことがある」とすることで、ボーダーラインの掘り起こしができ、施策への展開にもつながるのではないかと。→複数回答ができる設問であるため、選択肢7と他の数字に丸がつくことで、「食べないことがある」という判断ができる。

・どんなに厳しい状況の家庭でも、何も食べていないという子は多くないという感覚がある。「夕ご飯」ではないかもしれないが、何かしら「腹ごしらえ」は

できていると思う。保護者の手料理でなくても、お菓子やコンビニ弁当、子どもだけの外食など。

- ・夕ご飯の時間帯を聞くことも大切だと思う。

- ・厳しい状況の家庭における「食べてない」にかかわらず、例えば、中学生では部活と塾の合間に夕飯を食べる時間がなく、塾からの帰宅後には疲れてそのまま食わずに寝てしまうという状況もあると思います。

- ・中学生票：問16の設問内「※」に「朝読書」を追加。

- ・小中保護者票：問9、設問を「手帳のあるなし」から「医師の診断あるなし」に変更している。ボーダーラインを掘り起こすような設問にしてしまうと、保護者にとって子に対する心配は多少なりあるため、大多数があてはまるようになってしまう。

- ・小中保護者票：問11の選択肢「H」の「親」を「保護者」に変更。

- ・小中保護者票：問6の選択肢「E」だけ次元が違うため、一番初め「A」に移動。

- ・小中保護者票：問17の選択肢16について、主語が「子どもが」となっているため、位置を前倒してはどうか。

- ・子どもへの理解度・関わり方を把握するために、「お子さんの好きな食べ物は何か」「お子さんの友達の名前を何人把握しているか」などの設問を追加できないか。→ 子ども票で立証する必要があるため、ボリューム感も含め、対応は難しい。

- ・5か年計画の策定につながることを表紙に記載することで、より保護者の回答意欲を上げるのではないか。

- ・5歳児保護者票：問19の選択肢A「海水浴に行く」は限定的すぎるのではないか。

- ・アンケート調査票の内容に関する最終的な判断は事務局で決定する。

#### ○支援者ヒアリング【資料7】

- ・子ども家庭課、放課後児童クラブを対象に含めてください。

以上